



フェアトレードと 持続可能な地域づくり

パートナーシップで広める身近な国際協力

2019年

日時：11月8日(金) 14:00～17:30

会場：札幌エルプラザ 4階大研修室 (受付：13:30～)

札幌市北区北8条西3丁目 (JR札幌駅北口より徒歩3分)

定員：50名 (定員になり次第終了)

対象者：全国の自治体・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者
その他関心のある方 (企業、学生、および一般市民)

参加費無料



小松豊明氏

認定NPO法人シャプラニール
= 市民による海外協力の会
事務局長

「フェアトレード：生産者へのインパクトと市民運動としての広がり」



佐竹輝洋氏

札幌市 環境局
環境都市推進部
環境計画課 推進係長

「SDGsをきっかけにどのように"フェアトレードタウンさっぽろ"が誕生したのか」



村上彩子氏

株式会社マックスドナ
(エシカル・タイム運営)

「エシカル消費と地域への広がり～ビジネスと地域活性化の観点から」



長谷川雅子氏

一般財団法人CSOネットワーク
事務局長代理・理事

「参加を後押しする地域の取り組みの『見える化』」

パネルディスカッション

「他地域がフェアトレードタウンさっぽろに続くには 北海道の事例を通して考える」

ファシリテーター：

一般財団法人 北海道国際交流センター 専務理事

池田誠氏

申込方法

下記URLより

申込みフォームへご入力ください

<https://bit.ly/2lYwJdM>



問合せ先

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ
03-5213-1734

international_cooperation@plaza-clair.jp

開催趣旨

開発途上国の生産者との間で「公平・公正な貿易」を行うことを目指してはじまったフェアトレード。市民の力によって日本国内でも大きな広がりを見せています。

そのフェアトレードは途上国における持続可能な社会の実現だけでなく、国内の地域づくりにおいても大きな可能性を秘めています。この可能性をさらに活かしていくために、フェアトレードをどう広げていくべきか、自治体や企業、様々なアクターと共にパートナーシップで推進していく可能性についてセミナーを開催します。

全国で5番目のフェアトレードタウンとなった札幌市の事例、ビジネスや可能性をどう「見える化」していくかという視点からの事例を紹介頂き、参加者と共に持続可能な未来を考える機会とします。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

12 つくる責任
つかう責任



プログラム

開会 14:00～

総合司会：一般財団法人 北海道国際交流センター 吉村美悠氏

話題提供 14:10～

小松 豊明氏

認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会
事務局長

「フェアトレード：生産者へのインパクトと
市民運動としての広がり」

北海道札幌市出身。2001年にシャプラニールへ入職。フェアトレード部門、ネパール事務所長、東日本大震災被災地支援活動担当等を歴任。2014年より事務局長。日本フェアトレードフォーラム設立時から中心メンバーの一員として関わる。認定NPO法人国際協力NGOセンター（JANIC）副理事長／一般社団法人日本フェアトレードフォーラム・フェアトレードタウン認定委員会副委員長



事例紹介① 14:40～

佐竹 輝洋氏

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課 推進係長

「SDGsをきっかけにどのように
"フェアトレードタウンさっぽろ"が誕生したのか」

宮城県出身。2004年札幌市役所入庁。札幌市での環境教育や地球温暖化対策などの環境政策を担当し、環境省への出向経験などを経て、2019年より現職。SDGsの普及や実践に向けた取組を進め、札幌市の「SDGs未来都市」への選定や「フェアトレードタウン」認定などに関わり、現在は様々なイベントやセミナー等にも登壇。



事例紹介② 15:25～

村上 彩子氏

株式会社マックスドナ（エシカル・タイム運営）

「エシカル消費と地域への広がり
～ビジネスと地域活性化の観点から」

高校より海外に在住し、アハレル商社に勤務。貿易業務を担当。12年間の海外生活より帰国後、3ヶ国語の通訳経験を生かし起業。20年以上の貿易業務の経験を元に、フェアトレード商品の取り扱いや、エシカルなお菓子の商品開発にも力をいれる。2019年4月にサッポロファクトリーにてサステナブルなライフスタイルを提案するお店「エシカル・タイム」をオープン。衣食住と幅広いフェアトレードやオーガニック、持続可能な商品をセレクトしたお店になっている。ライフワークとして「世界の課題解決」にも目を向け、「SDGs アカデミー」を設立。北海道を中心に、全国各地でSDGs セミナーやワークショップを開催し、啓発活動を行う。



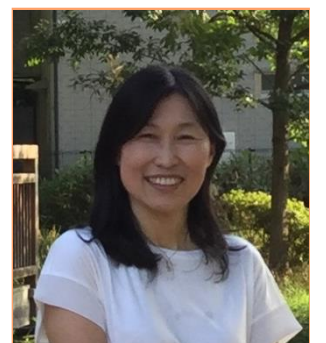
事例紹介③ 15:55～

長谷川 雅子氏

一般財団法人CSOネットワーク 事務局長代理・理事

「参加を後押しする地域の取り組みの
『見える化』」

公正で持続可能な社会の実現を目指し、調査・提言・情報発信等を行なうCSOネットワークにて、持続可能な地域づくり、公共調達に関する調査を実施。地域ワークショップやSDGsをテーマにしたセミナー等において、参加型・地域循環型の地域づくりの推進を目指す。横浜市立大学非常勤講師。国際公共政策博士



パネルディスカッション 16:35～ 「他地域がフェアトレードタウンさっぽろに続くには 北海道の事例を通して考える」

パネリスト：小松豊明氏、佐竹輝洋氏、村上彩子氏、長谷川雅子氏

ファシリテーター：

池田 誠氏

一般財団法人 北海道国際交流センター
専務理事

大学卒業後JTBにて11年間勤務。95年に退職、1年間、ニュージーランドでグリーンツーリズムや、パーマカルチャー、バイオダイナミックなどを学ぶ。帰国後、共働学舎新得農場にて有機農業、ナチュラルチーズづくりなどを担当し、自給自足の共同生活をする。2001年4月より現職。七飯町大沼在住



※終了後、別会場にて会費制の懇親会を予定しています。

申込フォームが利用できない場合 ①～⑥を記載の上、メールでお申込み下さい (international_cooperation@plaza-clair.jp)

① 件名【11/8 セミナー参加申込】 ② お名前（ふりがな） ③ ご所属 ④ ご連絡先（TEL、E-mail）

⑤ 懇親会参加の有無 ⑥ 本セミナーをお知りになったきっかけ

お問い合わせ：一般財団法人自治体国際化協会 市民国際プラザ 担当：小川・泉水(せんすい)

03-5213-1734 international_cooperation@plaza-clair.jp

市民国際プラザ

検索